

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 9 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700103		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	グループホーム宮内温泉ひまわり		
所在地	広島県廿日市市宮内字佐原田4215番地の1 (電話) 0829306071		
自己評価作成日	平成27年6月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700103-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町1丁目6-29
訪問調査日	平成27年9月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

小規模多機能ホームとの複合施設の為、行事やボランティアの方を招いて折り紙教室など、利用者様同志の交流を図りながら、認知症の進行を防ぐよう努力をしています。また、デイケアやサービス付き高齢者専用住宅ヴィラひまわりから催し物の誘いがあるときは、出来るだけ参加して頂き外出の機会を設けています。職員同士も、当事業所の理念である「笑顔と思いやりのある心を大切にします」を毎朝の朝礼時に唱和し色々な場面で助け合うよう心掛けています。そして、お風呂は温泉の成分が含まれているので、心身ともにリラックスして入って頂いています。また、利用者様と一緒にテラスで季節ごとの花を植えたり、畑で野菜の収穫を楽しみに待っておられ、収穫した野菜は日々の食事などで美味しくいただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

小規模多機能ホームとの複合施設であり、季節毎の行事およびイベントを合同で行っている。敷地内には、同グループの病院、サービス付き住宅、老人保健施設、デイサービスがあり、地域のニーズに即した医療・福祉サービスを提供している。また、利用者の健康管理や病状変化に於いても即対応できる体制が整っている。本人の病状や身体状況の変化により、ホームでの生活が難しい場合は、同グループを利用後に再入居されるケースもあり、法人内でのバックアップ体制が整っていることも、利用者および家族にとっては安心に繋がっている。地下水には温泉成分が含まれており、入浴することにより、血行を促進し、リラックス効果がある。テラスを活用し、利用者と一緒に季節の花を植えたり、畑で野菜づくりを行い、収穫した食材を食事で美味しく頂いている。職員のチームワークがとても良く、今後も人材育成の強化、職員間の連携をより深め、利用者の支援にあたりたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	月2回の朝礼時に、医療法人みやうちの理念を唱和している。ホーム独自の理念を作成し朝礼時に復唱している。	理念を毎日朝礼時に唱和している。法人内のサービス向上委員会で6カ月毎の目標計画を立案、実践することにより、理念に関して維持・向上できるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアに来ていただき交流をもっている。	母体病院を中心に法人の「健康フェア」を開催され、地域の方々にも来訪して頂く取り組みをしている。月1回、ボランティアの定期訪問により、折り紙を使用した作品づくりをされている。	ホーム周辺は近隣住民が少なく、地域との関わりが難しい状況がみられる。今後の取り組みとして、①外出（散歩や買い物など）を通じて、地域との関わりをもつ。②地域行事などへの参加を行い、日頃から地域住民との顔なじみの関係を築くことを望みます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在は、病院が主で地域貢献をしている。今後は協力し活かしていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在運営推進会議を開催し、交流行事等の実施状況を報告している。利用者・家族からの意見要望を聞きそこでの意見をサービス向上に生かし取り組んでいる。	内容は、ホームでの取り組み状況を報告している。適宜、テーマを決めて勉強会を実施している。随時、参加者との連携を行い、意見や要望を頂き、利用者支援および運営に繋げている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事務長がパイプ役になり市との連携を図っている。	市から近隣施設での催し物（写真展）の案内があり、見学に行くこともある。主に事務長がパイプ役として、市の担当者との連絡を取り、協力関係を築くようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は施錠せずセンサーで対応している。身体拘束はおこなっていない。</p>	<p>日中は玄関を開放している。安全確認のため、玄関にはセンサーチャイムを使用している。月1回、法人内の身体拘束委員会の研修の実施、また同グループの取り組み状況を見学に行き参考にしている。日々の会話や言葉掛けについても、十分気をつけた対応をされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の研修へ行った職員から学ぶ機会を持ち、虐待防止への注意を払い防止に努めている。また、全体会で勉強会をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在成年後見人を利用されている方がいないが、全体会議で簡単に勉強をした。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>相談員、係長が十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会、運営推進会議、ケアプラン説明時に、意見・要望を聞き運営に反映させている。</p>	<p>家族会、運営推進会議の実施をしている。法人として、サービス向上委員会を中心に、家族に対して年1回「アンケート」を実施している。寄せられた意見や要望などを運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の全体会議や朝礼時・終礼時・カンファレンス時に、意見や提案を聞き反映させている。</p>	<p>年2回、管理者と職員の個別面談を行っている。行事内容や利用者支援についての話し合いが多く、職員がやりたいと思う企画などあれば、反映されるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課をし面談を行い、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>院内研修や院外での研修内容を掲示しさまざまな研修を受ける機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者は、2ヶ月に1回、ホーム長同士の会議を行い、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用を開始する段階で、訪問を行い、本人が安心して生活していただけるよう困っていること・不安・要望を聞いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用を開始する段階で、訪問を行い、ご家族が困っていること・不安なこと・要望に配慮しながら、個別ケアができるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>訪問時に良く話しを聞き、本人と家族がまず必要としている支援を見極め、日常生活を楽しく過ごせるよう、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者一人一人の個性を把握し、一緒に生活しやすい環境になるように、ご本人がしたい事、できる事を話し合い工夫している。コミュニケーションを密に図り信頼関係を深めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時ご家族と情報交換を行い、共に本人を支えていく関係を築いている。年4回新聞を発行したり、生活の様子・行事等の写真を掲示しご家族に伝えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人やご家族等から馴染みの人や場所について情報をいただき支援に努めている。</p>	<p>入居時に必要性についてお伝えして、家族とお墓参りに行かれたり、面会が多くなるように努力している。ホームに友人がこられた場合は、お部屋に案内して楽しい時間を過ごせるようにしている。年1回、年賀状を出す支援を継続している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の中で、利用者同士の関係を把握した上で、トラブルのない様に、よりよい関係作りができるよう工夫している。歌・ゲームなど、色々なクラブ活動を通して、利用者同士が交流できるように支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院などで契約が終了した場合、面会や必要に応じて、本人・家族の相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様一人ひとりの思いや希望等を大切に、日常生活の様子からも、ご本人の思いを汲み取れる様に心掛けている。	誕生日には、ご本人の要望を聞き、ちらし寿司やパンケーキなど手作りで提供している。一人ひとりの望むことを把握して、介護計画に反映し、実行に移している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	安心して生活できるように、生活歴・趣味等、会話の中からコミュニケーションをとれるように心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日の生活リズムをつかみ、コミュニケーションを円滑に行うとともに、1日1回、バイタルチェックし、心身状態を把握している。月1回の体重測定を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	カンファレンスでモニタリングし、それぞれの意見やアイデアを反映し、介護計画を作成している。	本人の役割（テーブル拭き、お茶くみ、洗濯物畳みなど）を通じて、日々の生活が楽しく、快適となるように、具体的な介護計画を立てて、実施をしている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	ケアプランに基づきケアの実践に努め、情報を積極的に取り入れ創意工夫を心がけ改善・見直しに生かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	絶えず進歩する技術をマスターして、介護の質の向上を図るため、自己学習や研修会に参加し全体会でも勉強会を設け、多機能化に取り組むようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	病院の健康フェアやデイケア・デイサービスの催しに参加したり、ボランティア活動を利用し、メリハリのある暮らしができるよう支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医や通院方法について、ご家族や、ご利用者様の希望に沿っており、他院への受診内容はその都度ご家族から報告を受けている。	今までの病状のこともあり、以前のかかりつけ医も可能としているが、大半の方が、ホームの協力医（併設病院）に決めている。併設病院への定期受診や緊急時にも連絡体制が整っており、ホームとして適切な医療が受けられる安心感がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員は情報や気づきを係長に報告し、また併設病院の看護部長にも報告し適切な受診や看護が受けれるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した場合、病院関係者との情報交換や相談などは面会時・電話等で対応している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合について、医師が状況説明を行った上で、家族また本人・職員等と事業所で出来ることの説明や意思確認を行い、同意の上で、状態の変化に応じ、医師・医療関係者との連携をとりながら、介護計画作成をし支援している。</p>	<p>ホームとして看取りをする方針である。入居時に「看取りに関する同意書」により同意を得ている。終末期は、特に医療的なケアが必要なため、重度化やターミナルケアに向かう事例が出てきたら、対応方針について、かかりつけ医や家族との話し合いを、その都度重ねて対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時や事故発生時に備えて、急変時のマニュアルを作成し、シュミレーション訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>火災・地震・水害等のマニュアルを作成し、シュミレーション訓練を月1回行っている。</p>	<p>夜間は特に職員人数が限られるため、主に夜間想定訓練および電気設備（コンセント周辺など）の点検を毎月行っている。災害の発生時に備え、備蓄なども準備されている。同敷地内の事業所や近隣職員の協力体制が、法人内で整備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう、思いやりのある言葉かけや対応を心掛けている。	法人内の委員会を中心に、年間計画により研修を重ねている。利用者一人ひとりを尊重し、個々に合った支援および声掛けには、十分気を付けた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思い・希望を尊重するケアを心がけ、気配りをしながらアプローチをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の生活空間で可能な範囲で役割を持ちながら生活を行えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望により、美容院を利用したりしている。化粧される方には、化粧品が揃うよう支援している。着替えも自分で選んで頂いている。男性は、毎日髭剃りをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたい物の希望があるときは、希望に添えるよう献立を考えたり、一緒に準備や片付け食事作りをしている。畑で収穫した食材を使ったりしながら、旬の物を取り入れ、季節感を感じていただいている。お誕生日には希望のメニューを提供している。	3食手作りで提供している。誕生日には、本人のリクエストに応えるように努め、手作り食でお祝いしている。昼食前の口腔体操の実施や、職員も同じ時間に同じ食事を食することにより、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスを考えた献立を週ごとに立てている。一人ひとりの状態にあった食事の形態とし、食事量、水分摂取量のチェック・体重管理をしている。水分量は1日を通して確保している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食事前、口腔体操を行っている。一人ひとりの口腔状態を観察し、毎食後口腔ケアの声かけをし、必要な方には、口腔ケアの介助を行っている。必要に応じ、義歯の方には、ポリグリップの装着・洗浄・ポリデントにつけたりしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄のパターンを把握し排泄リズムに合うよう声かけ・促し、失敗を減らすよう対応している。自尊心を傷つけないよう十分配慮した言葉遣いに対応を心掛けている。	トイレの位置は適所（3箇所）にあり、使い勝手が良く、住環境の整備にも力を入れている。トイレに座ることを基本とし、なるべく紙おむつに頼らず自立支援に向けた取り組みをしている。その結果、布パンツ使用の方が半数おられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	一人ひとりの排便確認を行っている。便秘気味の方には、医師の指示により下剤で調整している。食事の工夫や水分、軽い運動や散歩をして頂いている。規則的な排便習慣ができるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日、日時を決めておらず、声かけにて希望時に入浴して頂いて、拒否があれば無理をしないようにしている。17時以降の希望の方は現在おられない。	最低、週2～3回は入浴可能な体制をとっている。以前、入浴拒否の方がおられたが、「温泉に行きましょう」という声かけにより、入浴拒否が軽減された。温泉成分が含まれたお風呂により、心身共にリラックスされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者のペースで休んでもらっている。昼間でも食後少しでも横になれるような時間も設けている。室温や服装にも気を配り一人ひとりが快適に休んで頂けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤情報表を作成し、処方された薬について職員間で情報を共有している。また、処方箋のコピーに、いつまで薬が有るかなど把握出来るようにしている。薬が変更になった時は、特に症状の変化や副作用を観察している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴を活かした役割や、園芸・畑づくりに関しての助言を頂いたりしている。散歩やドライブ、他部署での行事参加等、気分転換が出来るように工夫をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の希望に沿って、日光浴をしたり散歩・ドライブを行っている。家族の協力もあり、外出する機会も増えている。散髪の希望があれば、近所の理髪店に出かけている。	個別外出は、家族の協力をお願いする場合もあるが、行事計画書により季節毎（お花見、紅葉狩りなど）の外出をされている。同法人内の事業所で催し物があれば参加されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持って頂いている。買い物などの時に使えるように支援している。法人の「健康フェア」のバザーに付き添い、買い物支援を行なった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時は電話を使用して頂いている。携帯電話を持たれている方は携帯で連絡されている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用する空間は、特に清潔が保てるように配慮している。湿度・温度を一日3回測定し、過ごしやすいように気をつけている。壁には、毎月のカレンダーを入居者と一緒に作ったり、季節にあった作品も飾っている。玄関先には、季節にあった生け花を飾っている。</p>	<p>ソファや椅子を適宜置き、壁面には季節毎の飾り付けを行い、季節感の演出に工夫をされている。温度・湿度を1日3回測定され、換気や衣類調整にも気を配り、一人ひとりが快適に過ごせるように、健康管理に努めている。外部業者と委託契約し、月1回は建物内の保守点検を実施されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりが自由にくつろげる空間や交流出来る居場所作りを大切に、テーブル・ソファ椅子の場所を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>面会時など場合により、職員も一緒に相談をしている。使い慣れた物や好みを活かした家具を持ってきていただいている。家具などの配置も希望に沿っている。職員も一緒に整理整頓をし、快適に過ごして頂ける様、支援している。</p>	<p>ベッド・クローゼット・洗面・エアコンはホームで用意されている。趣味や特技などの物品なども自由に持ち込まれている。本人が安心して過ごせる場所となるように、本人・家族と相談しながら工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部は、バリアフリーになっている。安全かつできるだけ自立した生活が送れるように支援している。一人ひとりの出来る事は、見守りしながらして頂けるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につながっている。	医療法人みやうちの理念を月2回朝礼時唱和し、理念の共有と実践につなげホーム独自の理念、「笑顔と思いやりの心を大切にします」毎朝ホームの朝礼で唱和し常に念頭に置き、日々の業務に生かす努力している。	理念を毎日朝礼時に唱和している。法人内のサービス向上委員会で6カ月毎の目標計画を立案、実践することにより、理念に関して維持・向上できるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	定期的にボランティアの方に来ていただき交流を持っている。デイケアなどにボランティアの方が来所された時にも参加している。近所の理髪店を利用したり、入居者の方と一緒に買い物行くなどのしている。法人の「健康フェア」のバザーなどに行き地域との交流を図っている。	母体病院を中心に法人の「健康フェア」を開催され、地域の方々にも来訪して頂く取り組みをしている。月1回、ボランティアの定期訪問により、折り紙を使用した作品づくりをされている。	ホーム周辺は近隣住民が少なく、地域との関わりが難しい状況がみられる。今後の取り組みとして、①外出（散歩や買い物など）を通じて、地域との関わりをもつ。②地域行事などへの参加を行い、日頃から地域住民との顔なじみの関係を築くことを望みます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	主に病院が地域貢献をしているが、常に協力し活かしていけるよう努力している。年1回病院中心に健康フェアを行い地域の方にも参加して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に運営推進会議を開催し、行事、その他の報告事項を行い話し合いを行っている。ご家族、民生委員の方や市職員の方にも参加していただき、要望や助言をいただきサービス向上に活かす努力をしている。	内容は、ホームでの取り組み状況を報告している。適宜、テーマを決めて勉強会を実施している。随時、参加者との連携を行い、意見や要望を頂き、利用者支援および運営に繋げている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事務長、相談員が窓口となり、市との連携を図っている。	市から近隣施設での催し物（写真展）の案内があり、見学に行くこともある。主に事務長がパイプ役として、市の担当者との連絡を取り、協力関係を築くようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は施錠せず、センサーで対応している。その人に合わせ寄り添い、見守るといった姿勢で身体拘束をしないケアを実践している。</p>	<p>日中は玄関を開放している。安全確認のため、玄関にはセンサーチャイムを使用している。月1回、法人内の身体拘束委員会の研修の実施、また同グループの取り組み状況を見学に行き参考にしている。日々の会話や言葉掛けについても十分気をつけた対応をされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の研修・講演会を受講し、報告書を提出し、全体会議時には発表して虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全体会で学ぶ機会を持ち、わからない事はその都度聞ける環境にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>相談員、係長が、訪問時に十分説明を行い理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から、利用者及びご家族から個別に意見や要望を聞くよう声掛けに勤めている。ご家族からの情報やご本人の望んで居られる事を聞き取りながら運営に反映している。</p>	<p>家族会、運営推進会議の実施をしている。法人として、サービス向上委員会を中心に家族に対して年1回「アンケート」を実施している。寄せられた意見や要望などを運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	各委員会で職員に役割や責任感を持たせ意見や提案を機会を設け、反映させている。	年2回、管理者と職員の個別面談を行っている。行事内容や利用者支援についての話し合いが多く、職員がやりたいと思う企画などあれば反映されるようにしている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	人事考課し面接を行い各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	院内研修や院外研修の内容を掲示し研修を受ける機会を確保している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	二ヶ月1回管理者はホーム長同士の会議を開催し、サービスの向上を図れるよう取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	サービス利用開始前に、必ず本人からの要望、不安なこと・何か困っていないかなどをお聞きし、要望に答えながら本人との信頼関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用開始する段階で訪問を行い、家族が不安に思われていること、困っていること等要望を聞き、それに応えられるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>訪問時にしっかりと話を聞き、本人と家族が一番必要とされている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の意向を尊重し、いっしょに暮らしやすい環境になるよう工夫している。コミュニケーションを密に信頼関係を深めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族との情報交換を行い、共に本人を支えていけるような関係を築いている。また、年4回の新聞発行や写真を掲示し日常生活の様子を伝えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人や、場所など関係が継続できるよう、面会しやすい雰囲気や環境づくりに努めている。</p>	<p>入居時に必要性についてお伝えして、家族とお墓参りに行かれたり、面会が多くなるように努力している。ホームに友人がこられた場合は、お部屋に案内して楽しい時間を過ごせるようにしている。年1回年賀状を出す支援を継続している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士の関係を把握した上でよりよい関係づくりが出来るよう努めている。色々な活動を通して交流がもてるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院などで契約が終了した場合、必要に応じて本人、家族の相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の状況を把握し、希望や意向には耳を傾けて対処している。個別のプランを作成して理解し、スタッフが安全に配慮し丁寧かつ適切に対処出来る様に勤めている。	誕生日には、ご本人の要望を聞き、ちらし寿司やパンケーキなど手作りで提供している。一人ひとりの望むことを把握して介護計画に反映し、実行に移している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常さりげない会話の中から生活歴等を引き出せるよう心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日1回バイタル測定や日常生活の中から心身状態を読み取り、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時、本人・ご家族との希望を大切に暮らしやすい環境の中で生活できるように計画を作成している。それぞれの生活の課題を解決する事で豊かで安全な生活を送る事が出来る様、努めている。</p>	<p>本人の役割（テーブル拭き、お茶くみ、洗濯物畳みなど）を通じて、日々の生活が楽しく、快適となるように具体的な介護計画を立てて、実施をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに基づきケアの実践に努め、職員間で気づきや工夫等の情報を共有しながら見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>進歩する技術をマスターし、本人のニーズを把握・対応し多機能化に取り組んでいく。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>デイケア・デイサービスでの催し、病院の健康フェアに参加するな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診は本人や家族の希望を大切に適切な医療を受けられるよう支援している。毎月の定期受診には、入居者様の様子観察し異常があれば早めに受診し、ご家族に連絡している。</p>	<p>今までの病状のこともあり、以前のかかりつけ医も可能としているが、大半の方が、ホームの協力医（併設病院）に決められている。併設病院への定期受診や緊急時にも連絡体制が整っており、ホームとして適切な医療を受けられる安心感がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>要観察に努め、情報や気づきを准看護師のホーム長に報告・相談をし、併設病院の看護部長にも報告し適切な受診や看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院した際は病院関係者との情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に本人・家族と話し合い。重度化、看取りについてカンファレンスを行なって病状の変化をその都度、細かく状況説明を行い、家族に充分説明し意思確認と理解を得ると共に主治医・看護師などの医療機関との連携を図りながら支援を行う。</p>	<p>ホームとして看取りはする方針である。入居時に「看取りに関する同意書」により同意を得ている。終末期は、特に医療的なケアが必要なため、重度化やターミナルケアに向かう事例が出てきたら対応方針について、かかりつけ医や家族との話し合いをその都度重ねて対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時のマニュアルを作成し、シュミレーション訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>色々な状況を想定した火災訓練を、月に1回入居者様も参加で行い、その日の内に反省点、感想を記入し全体会で話合っている。災害時には併設の法人施設に連絡し協力体制を築いている。</p>	<p>夜間は特に職員人数が限られるため、主に夜間想定訓練および電気設備（コンセント周辺など）の点検を毎月行っている。災害の発生時に備え、備蓄なども準備されている。同敷地内の事業所や近隣職員の協力体制が法人内で整備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護度や性格、思いや感性は個々に異なる事に留意し誇りや尊厳、プライバシーを損なわない様、十分配慮した言葉遣いと対応を心掛けている。	法人内の委員会を中心に、年間計画により研修を重ねている。利用者一人ひとりを尊重し、個々に合った支援および声掛けには十分気を付けた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望を尊重するケアを心掛け、相手の立場で考えて声かけ行動している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、その人らしく安心して生活できるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	着替えも自分で選んでいただいたり、希望により美容院を利用されたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むきやベランダで出来た野菜の収穫をして頂いている。旬の物を取り入れた献立で季節を感じてもらえるように勤め、誕生日会には食べたい物を入居者様に聞き希望に添った食事を提供している。	3食手作りで提供している。誕生日には、本人のリクエストに応えるように努め、手作り食でお祝いしている。昼食前の口腔体操の実施や職員も同じ時間に同じ食事を食することにより、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスを考えた献立にし、一人ひとりの状態にあった食事の形態とし、食事量と体重管理をしている。水分量もしっかりとってもらよう努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声かけを行い、一人ひとりの口腔状態の観察をし、必要な方には、誘導・準備・介助し口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムに合うよう，声かけ、付き添い、排泄の自立に向けた支援を行なっている。</p>	<p>トイレの位置は適所（3箇所）にあり、使い勝手が良く住環境の整備にも力を入れている。トイレに座ることを基本とし、なるべく紙おむつに頼らず自立支援に向けた取り組みをしている。その結果、布パンツ使用の方が半数おられる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの排便確認を行っている。便秘気味の方には、医師の指示により下剤で調整している。水分補給に心掛け軽い運動や食物繊維を多くとってもらうなど工夫している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの希望やタイミング、体調に合わせて曜日など定めず声かけし入浴して頂いている。浴槽に入る事が苦手な方には、毎日足欲をいただいている。</p>	<p>最低、週2～3回は入浴可能な体制をとっている。以前、入浴拒否の方がおられたが、「温泉に行きましょう」という声掛けにより、入浴拒否が軽減された。温泉成分が含まれたお風呂により、心身共にリラックスされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	温度湿度に気を配り一人ひとりが快適に安心して休んで頂けるよう支援している。また、入居者のペースで過ごして頂けるよう配慮している。夜間2時間おきに巡室をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者の薬の処方については職員が把握し、服薬管理をしている。薬の変更などあった場合異常がないか観察し職員間で情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者個々により盆栽の水やりや歌を唄ったりゲームなど楽しみを共有しドライブ・行事の参加などに誘い、気分転換等の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その時の気分、体調に合わせて散歩・ドライブなどに出かけたり関連事業所で行われる行事に参加するなど、あらゆる機会を通じて外出支援に取り組んでいる。	個別外出は、家族の協力をお願いする場合もあるが、行事計画書により季節毎（お花見、紅葉狩りなど）の外出をされている。同法人内の事業所で催し物があれば参加されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの希望や力に応じてお金を持って頂いており、買い物などの時に使えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者が電話をかけたい時は、かけていただいている。携帯電話や手紙などに自由に活用されている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>テレビの音量、室温、光などに気を配り、快適に過ごしていただけるように配慮している。季節毎に花を飾ったり掲示物も変えるなど工夫している。</p>	<p>ソファや椅子を適宜置き、壁面には季節毎の飾り付けを行い、季節感の演出に工夫をされている。温度・湿度を1日3回測定され、換気や衣類調整にも気を配り、一人ひとりが快適に過ごせるように、健康管理に努めている。外部業者と委託契約し、月1回は建物内の保守点検を実施されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者が自由に過ごせるようテーブル・ソファ・テラスなどくつろげる場所を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた布団や日用品を持ってきていただき、個性を大切にしながら、居心地の良い環境で過ごしていただけるように工夫している。</p>	<p>ベッド・クローゼット・洗面・エアコンはホームで用意されている。趣味や特技などの物品なども自由に持ち込まれている。本人が安心して過ごせる場所となるように本人・家族と相談しながら工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内は、広々しており安全面にも気配りし、一人ひとりのできることは、見守りながらして頂けるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない